

8月29日(土)学校説明会アンケートに寄せられた質問

1. 進学について

Q1 東洋大学内部進学のための基準を具体的に教えてください。

A1 基準については、毎日の授業内容を確実に身に付けていることが基本となります。その上で、評定平均値や模試成績、英検準2級以上の取得等の基準があります。学校説明会等でより詳しくご説明させていただいております。

2. 入試について

Q2 今後、高校からの募集を停止する予定はありますか。

A2 現時点では、その予定はありません。中高一貫教育と高等学校教育を並行して行っています。

Q3 全体の合格者からみて、2科受験での合格者の占める割合はどれくらいですか。また、4科と2科では、どちらでの受験が有利でしょうか。

A3 2科受験者の割合ですが、昨年度は全体の約4割でした。各回によっても異なり、第1回・第4回は約5割、第2回・第3回は約3割という結果でした。また、合格判定についてですが、2科受験者と4科受験者のそれぞれにて得点率を算出し、その成績順により合格判定を行います。

3. 学習について

Q4 朝テストの内容を教えてください。

A4 英国数3教科とも、全員に確実に身に付けてほしい基礎力を確認するテストとなっています。毎時間の授業を集中して受け、家庭で予習・復習をしっかりと行っていれば十分に合格できる内容です。

Q5 指名補習制度について教えてください。

A5 朝テストで基準の点数に達しなかった生徒や、定期考査で成績の振るわなかった生徒を対象に行っている補習です。授業の理解度を高め、学習に遅れる生徒がいないようにサポートしています。

Q6 夏季講習について教えてください。

A6 夏季休業の前半部において夏季講習を実施しています。普段の授業とは違う内容を学習します。全員参加、希望制など、各学年により柔軟性を持たせた実施をしています。また、必要に応じて指名補習も実施します。

Q7 がんばりノートはどのように活用されているのか教えてください。

A7 家庭学習用ノートであり、宿題以外の自習を行うノートです。週2回程度担任が回収し、一人ひとりの学習の状況を把握するためにも活用しています。

Q8 英語学習のカリキュラムについて教えてください。

A8 中学校では、英語の授業を週5時間、英会話を週1時間行っています。英会話の授業では、ネイティブ

英語教員と日本人英語教員とのチームティーチングで行っています。その他には、英語関連の行事として、Let's Chat in English!という東洋大学留学生と英語で会話をする時間や、English Conversation Roomにて昼休み・放課後にネイティブ英語教員と英語で会話をする時間もあります。

Q9 哲学学習について、特に「生きる力」とは何かを具体的に教えてください。

A9 本校の哲学教育は、哲学の知識や既製の道徳を教師が一方的に注入するのではなく、与えられたテーマについて生徒が自ら考え、論じ合うことで、世間の常識や自己の価値観を問い直し、常に「よりよく生きる」ことを求めて自問自答する力、「哲学的に考える力」を養うことを目的としています。

そのため、中学必修科目「哲学」では、「なんでだろう」「どうして」「もしも～だったら」と、身近なことに問いを立てて考えることを重視しています。高校1年の「倫理」では、東西の思想を学ぶと同時に、対話を通して「幸福とは何か」「何のために知識を得るのか」といった哲学的な問いを考えていきます。また、希望制の「哲学ゼミ(今年度は岩手県大槌町を訪問)」「刑事裁判傍聴学習会(実際の刑事裁判の傍聴、刑務所の訪問など)」では、実際に「本物」に触れる中で感じたことをもとに対話を重ね、自らの生き方を見つめます。研究の成果は年度末の「哲学エッセーコンテスト」、「哲学の日」の研究発表などで披露されます。

詳しくはホームページの「哲学教育の詳細・取り組み」をご覧ください。

Q10 クラス編成について教えてください。

A10 中学では、1・2年次は3クラスとも学力平均、3年次は1クラス難関大予備クラスを編成します。高校では、中高一貫部と高等部は別々の編成とし、それぞれに1・2年次は難関国公立大クラス、国公立大クラスにわかれま。3年次にはさらに東洋大進学クラスが設けられます。

4. 部活動について

Q11 今後、部活動の種類が増える可能性はありますか。

A11 今年度はその予定はありませんが、来年度以降、生徒の要望と条件に応じて検討していきます。

Q12 水泳部で有名な東洋大学の附属校なので、水泳部の復活を希望しています。今後、水泳部が新設されることはありますか。

Q12 残念ながら、校舎内にプールがないため、その予定はありません。

5. 保護者の関わりについて

Q13 「保護者の会」について詳細を教えてください。

A13 主にPTAの活動と大差はなく、生徒たちの学校生活をサポートしていただいています。クラス、学年の活動の他、文化祭での出展や、広報誌の発行などを行っています。

Q14 保護者会などでの保護者の来校回数はどのくらいですか。

A14 保護者の皆様には、保護者会、三者面談、授業公開などの際にご来校頂いております。年4～5回程度です。

6. 学校生活について

Q15 給食(ランチボックス)について、生徒からの評価を教えてください。

A15 本校では、「ランチボックス」と呼び、担任または副担任とお昼を摂っています。内容は日替わりで、主菜・副菜・主食・デザートなどが提供されます。生徒たちの話を聞くと、女子生徒にはご飯の量が多く、男子生徒にはやや少なく感じるようです。足りない場合は、おにぎりなどを持参したり、購買で購入をするなどして補ってもよいことになっています。

Q16 在校生の通学範囲や通学所要時間を教えてください。

A16 通学所要時間の平均は、およそ40～50分です。隣接県から通学している生徒も多く、1時間以上かけて通学している生徒も多数います。

Q17 「いじめ」の有無と、その対策について教えてください。

A17 日頃から二者面談をことあるごとに行い生徒教員とが対話する機会を多く設けています。また、クラス担任・副担任・学年の教員が休み時間にも教室を巡回し、生徒たちの学校生活を見守っています。さらに、校内に「いじめ防止対策委員会」を設置し、生徒および保護者へのアンケートにより生徒の様子把握に努めるなどいじめ防止に積極的に取り組んでいます。

7. その他

Q18 女子生徒の対応において、どのような点に配慮されていますか。

A18 施設としては、女子生徒が心地よく利用できる清潔かつ機能的なトイレ・更衣室・シャワー室を備えています。また、メンタル面としては、女性カウンセラーを設置するとともに、女性教諭の採用を増やしています。

Q19 運動会の会場はどちらに設定されていますか。

A19 今年度、残念ながら実施できなかった運動会については、来年度、高校とは別日程とすることにより実施します。会場については、現在検討中です。